

屋外用チューブ型 IP カメラ IPT-21A

取扱説明書



お客様へ

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

また、お読みになった後は、いつでも見られるように場所を定めて保管してください。

株式会社 **ケービデバイス**

限定保証

(株)ケービデバイスは IPT-21A が、頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

したがって、(株)ケービデバイスは弊社へ返送していただいたもので、弊社が点検して材料および仕上げに欠陥があると判断した場合には、弊社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 1 年間かつ日本国内で使用される IPT-21A についてのみ有効なものとします。

免責事項

(株)ケービデバイスは市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、本保証条件以外のものは一切保証いたしません。(株)ケービデバイスは、いかなる直接的損害、付带的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用に起因する損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。この結果、IPT-21A は『現状』で販売されるものです。お客様は IPT-21A の使用、ならびに IPT-21A を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。この保証は、最初の購入者であるお客様(1ユーザー)に対して適用され、お客様が IPT-21A を転売された第三者には適用されません。(株)ケービデバイスは第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる請求に関しても責任を負わないものとします。

以下にあげる場合は、保証の対象外とさせていただきます。

- ① 火災・地震、第三者による行為、その他の事故により IPT-21A の不具合が発生した場合。
- ② お客様の故意もしくは過失、誤用、乱用その他の異常な条件下での仕様により IPT-21A の不具合が発生した場合。
- ③ お客様が IPT-21A に手を加えて改造、修理した場合。
- ④ ユーザシステムの使用や使用方法に起因して発生した損害等について。

目次

安全にお使いいただくために	1
使用上のご注意	4
1. 本製品について	5
1-1. 製品の概要	5
1-2. 同梱品について	5
1-3. カメラ各部の名称	6
2. ライブ監視	7
2-1. カメラの取付け	7
2-2. カメラの接続について	9
2-3. ネットワークビデオレコーダー「RIP シリーズ」との接続	9
3. PC からの LAN 接続	10
3-1. MDload による IP アドレスの設定	10
3. 2 ブラウザからのアクセス	11
4. ライブ画面	12
4-1. デジタルズーム	13
4-2. スナップショット	14
4-3. 画角の調整	14
5. 各種設定	15
5-1. インストール設定	15
5-2. ビデオ設定	16
5-2-1. コーデック設定(ストリーミング設定)	16
5-2-2. カメラ設定	16
5-3. 音声設定	20
5-3-1. 音声機器の接続	20
5-3-2. 設定画面	20
5-4. ライブ設定	21

5-5. SD カード設定	22
5-5-1. SD カード設定	22
5-5-2. イベント SD 書き込み設定	23
5-5-3. 定期 SD 書き込み設定	24
5-6. FTP 設定	25
5-6-1. サーバー設定	25
5-6-2. イベント FTP 送信設定	26
5-6-3. FTP 定期送信	27
5-7. イベント設定	28
5-7-1. センサー・アラーム機器の接続	28
5-7-2. アラームポート設定	29
5-7-3. モーション設定	30
5-7-4. アクション設定(イベントマッピング設定)	31
5-8. ネットワーク	32
5-8-1. IP アドレス設定	32
5-8-2. ポート設定	33
5-8-3. RTP 設定	33
5-8-4. E メール設定	34
5-8-5. UPnP 設定	34
5-9. システム設定	35
5-9-1. ユーザー設定	35
5-9-2. 日時設定	36
5-9-3. メンテナンス	37
5-9-4. システム情報	38
 6. 工場出荷時の設定	 39
6-1. 工場出荷時の設定に戻す	39
6-2. 工場出荷時の設定値一覧	40
 7. 製品仕様	 44

安全にお使いいただくために

- ・ IPT-21A をご使用になる前に、必ず本書をよく読んでください。
- ・ 本書は必ず保管し、使用上不明な点等がある場合には再読し、ご確認ください。
- ・ 本書を十分理解せずに IPT-21A をご使用にならないでください。
- ・ IPT-21A の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのでご了承ください。
- ・ IPT-21A は、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。
- ・ IPT-21A は防犯カメラと組み合わせて使用することによって、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。
- ・ 本書に載っている挿絵は、実際のものと若干異なる場合があります。

【 表示および図記号について 】

本書では機器を安全に正しくご使用いただくために、さまざまな表示をしています。

内容をご理解の上、本文をよくお読みください。

注意記号	禁止記号			指示記号		
						
一般注意	一般禁止	接触禁止	分解禁止	一般指示	電源を抜く	アース接続



警告

正しくご使用いただけない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

● 水にぬらさない



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所（温度、湿度変化の激しい場所）や水の入る場所に設置しないでください。

● 指定の電源電圧を超えない



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。

火災および感電の恐れがあります。

● 分解、改造をしない



本製品を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。メンテナンスや検査が必要な場合には、製品を購入いただいた販売店にご連絡ください。

● 液体や金属片を上に乗かない、挿入しない



本製品の上に、水の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本体内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

● 異常が発生したとき



以下の場合には直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- ・ 本体から煙や異臭または異音が発生したとき
- ・ 落下などにより本体または電源コードが損傷したとき

● 落雷時は触れない



落雷があったときは、本体やケーブルに触れないでください。感電の恐れがあります。落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



注意

正しくご使用頂けない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● ぬれた手で触れない



濡れた手で本体およびケーブルに触れないでください。
感電の恐れがあります。

● コードを置いたままにしない



ケーブル類を通路に置いたままにしないでください。
通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。
本製品およびカメラからの過電流による感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき



製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。
異物の除去のために薬剤(シンナー、溶剤など)は使用しないでください。

● 使用する場所に注意



以下の場所で使用または保管しないでください。

- ・ 温度が極端に低いか、高い場所
- ・ 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
- ・ 埃っぽい場所
- ・ 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所

● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、テレホンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。

● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品のリアパネルおよび内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

● 法規に準拠した廃棄を



本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

使用上のご注意

- 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本製品を使用しないでください。
- 強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、製品は適切に作動しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようになしてください。
- 本製品は、停電に備えて設計されていますが、停電により損傷を受ける可能性もあります。
その場合、使用中のデータが損傷したり、記録されなかったりすることがあります。
無停電電源装置(UPS)を使用することを推奨します。
- 本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。
しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本製品は外部機器(センサー、オーディオ機器、PC、レコーダーなど)と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- 本製品から出力される映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることをお勧め致します。
- 本製品は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。
火災や感電、本体の破損につながります。
- 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を弊社は負うことができません。
あらかじめご了承ください。
- 本製品に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
(ハードウェア、ソフトウェア、文書等)

1. 本製品について

1-1. 製品の概要

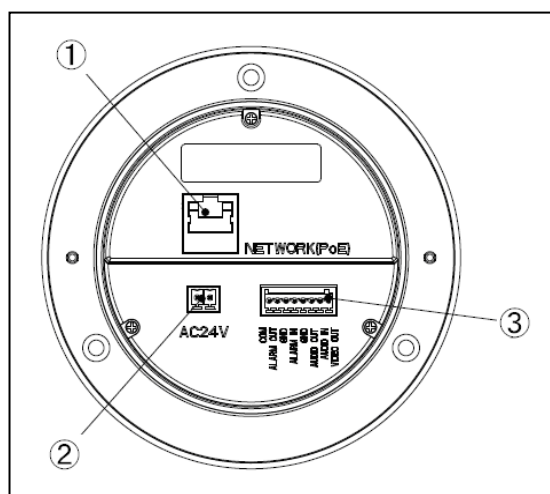
- ・ 本製品はH.264圧縮方式対応のIPカメラ(ネットワークカメラ)です。
- ・ 2メガピクセル(Full HD)で30FPSの安定したストリーミングを実現します。
- ・ プラグ&プレイ対応で、弊社製ネットワークビデオレコーダー「RIP-2000シリーズ」等に接続するだけでカメラを認識&記録を開始します。「RIP-2000シリーズ」とセットでのご使用を推奨します。
- ・ ブラウザ(Internet Explorer 7.0以上)からGUIベースでのカメラ設定が可能です。
- ・ オートフォーカス機能を搭載しており、ネットワーク上からカメラのレンズ調整が可能です。
- ・ PoE給電のほか、AC24Vの電源供給を実装しています。
- ・ 赤外線投光器を内蔵しており、0ルクスの暗闇でも撮影が可能です。
- ・ 別売りのMicro SDカードを挿入して、定期的に静止画を保存することができます。

1-2. 同梱品について

本製品には以下のものがセット内容となっています。すべての同梱品が含まれているかご確認ください。

名称	数量	用途
IPカメラ	1	IPカメラ本体です。(カメラ本体+カメラベース)
BNC変換ケーブル	1	アナログ映像出力端子をBNC端子に変換します。
電源端子台	1	AC24V電源接続用の端子台です。
アラーム/音声端子台	1	センサー・アラーム機器/オーディオ機器接続用の端子台です。
六角レンチ	1	カメラノ角度調整に使用するレンチです。
カメラ設置用アンカー	4	天井または壁面に打付けます。
カメラ設置用ビス	4	カメラベースを天井または壁面に固定するためのビスです。
簡易取扱説明書	1	カメラを設置するためのマニュアルです。
CD-ROM	1	取扱説明書やカメラの設定を行うためのソフトウェアが含まれます。

1-3. カメラ各部の名称



- ① LAN 端子 (RJ-45)
- ② AC24V 電源端子
(付属の端子台を接続)
- ③ アラーム/音声端子
(付属の端子台を接続)

図 1-3a カメラ背面

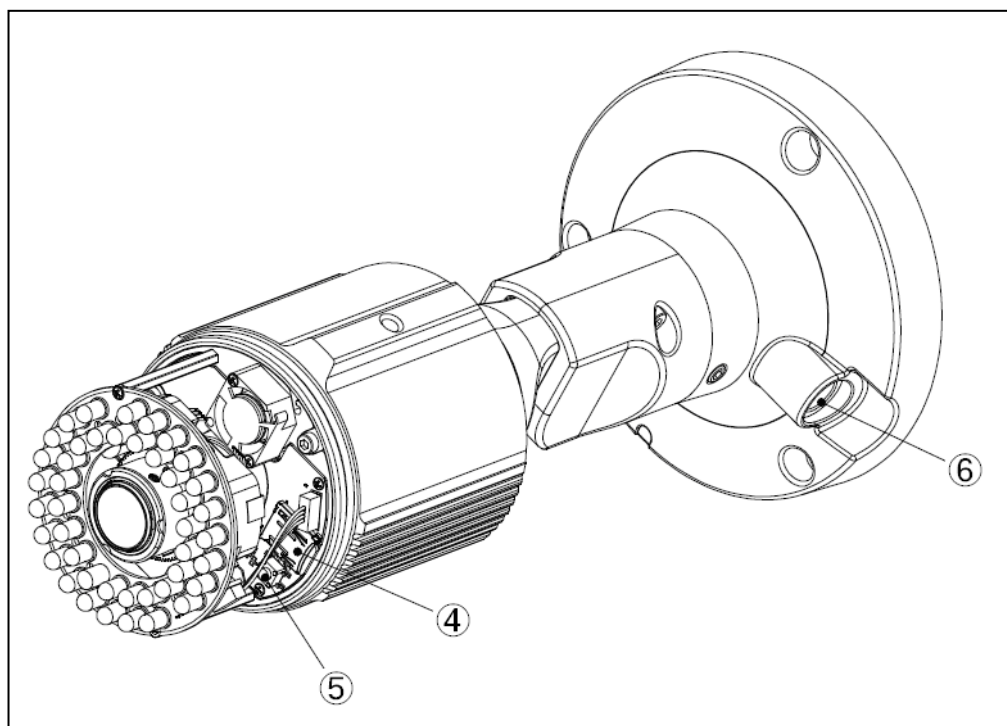


図 1-3b カメラ側面

- ④ Micro SD カードスロット
- ⑤ リセットボタン
- ⑥ アナログ映像出力端子 + ステータス LED

※ 上図はカメラの日除けおよびレンズカバーを取外した図です。

2. カメラの設置

2-1. カメラの取付け

以下の手順で、カメラを天井または壁面に設置します。

1. 天井または壁に付属のアンカーを取付けます。

※ カメラは、必ず平らな面に設置してください。

凹凸のある面に設置すると水がカメラ内部に浸水し、故障の原因に繋がります。

2. カメラベースをビスでアンカーに取付けます。

※ 設置する際、水抜き穴が必ず下に向くように取付けてください。

3. カメラ本体を付属のビスでカメラベースに取付けます。

4. カメラベース周囲を防水シール剤などでコーキングし、隙間を埋めてください。

ただし、水抜き穴の部分はコーキングしないでください。

※ 防水が不完全な場合、機器の故障や設置する家屋の壁中に水が浸水する原因に繋がります。

5. 図 2-2(8 ページ)を参考に、カメラの向きを調整します。

※ ビスの開け閉めには付属の六角レンチを使用してください。

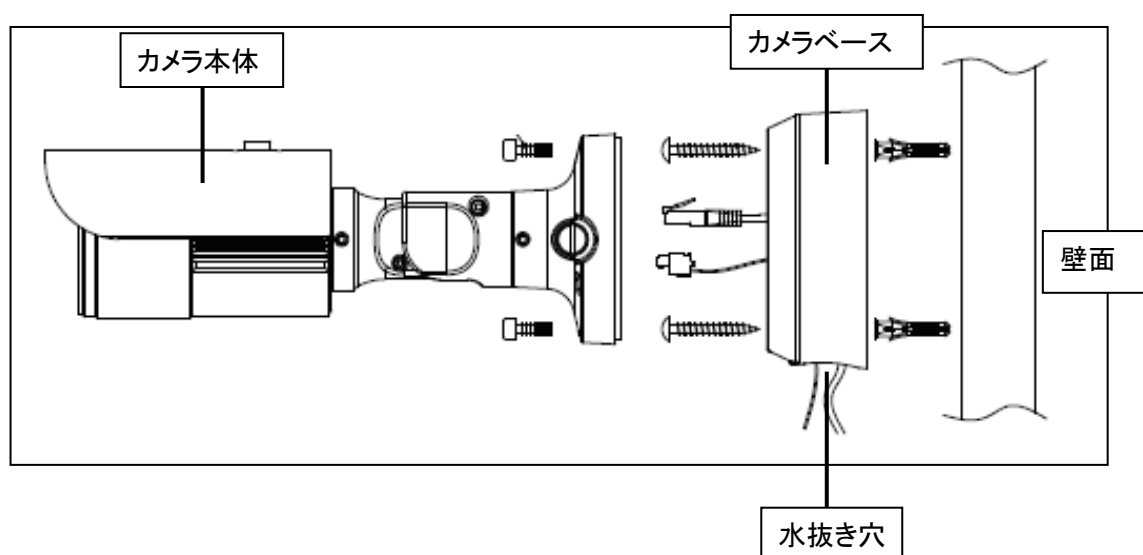


図 2-1 カメラの設置

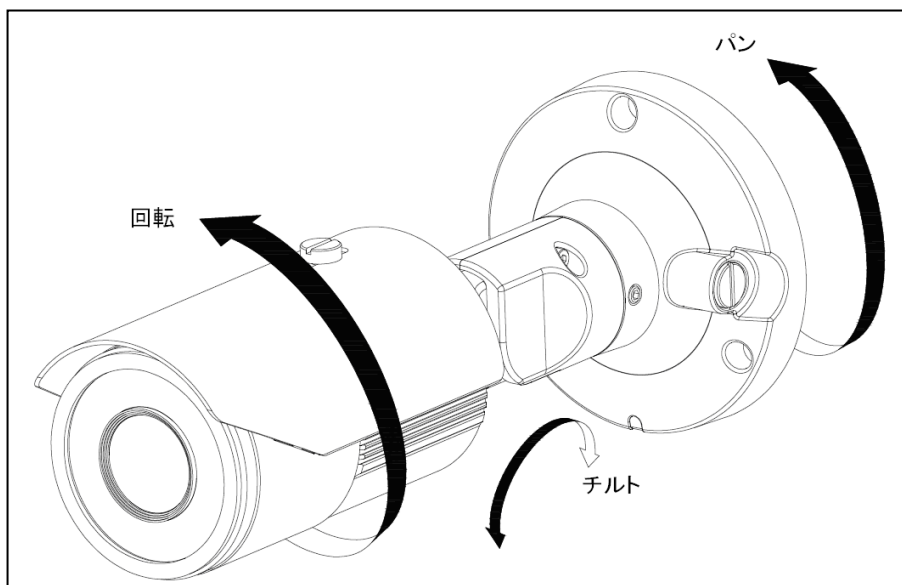
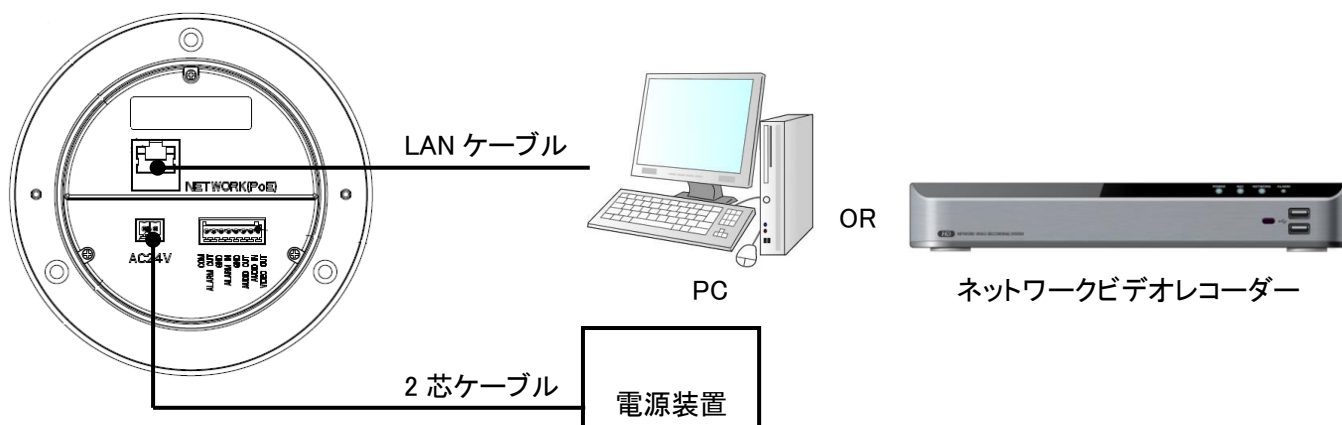


図 2-2 カメラの向きの調整

2-2. カメラの接続について

以下の各ケーブルをご用意の上、それぞれ下図のように接続してください。

- ・ LAN ケーブル(PC またはネットワークビデオレコーダー接続用)
- ・ 2 芯ケーブル(AC24V 電源用) ※ PoE 電源供給を行う場合は不要です。



警告

- ・ PoE HUB を使用する場合は、AC24V 電源端子は使用しないでください。
(機器が故障する恐れがあります。)
- ・ 2 芯ケーブルの極性(+ -)には十分に注意してください。

BNC ケーブルでの接続

カメラ本体にあるアナログ映像出力端子から映像信号を出力することができます。
画角調整時にモニターで確認することができます。

※ 映像が映らないときは、5-1. インストール設定 を参照の上、アナログ映像出力の設定を確認してください。

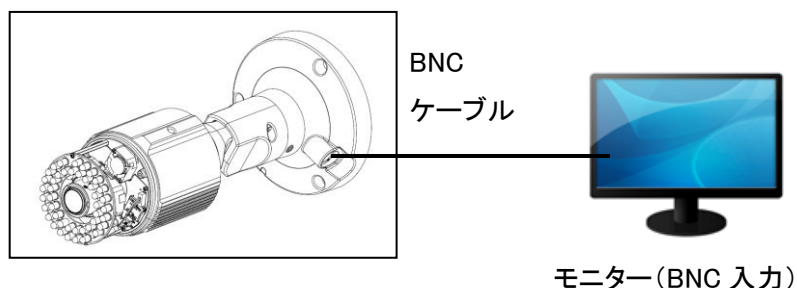


図 2-2b BNC での接続

2-3. ネットワークビデオレコーダー「RIP-2000 シリーズ」との接続

本製品は「RIP-2000 シリーズ」のプラグ & プレイ機能に対応しています。

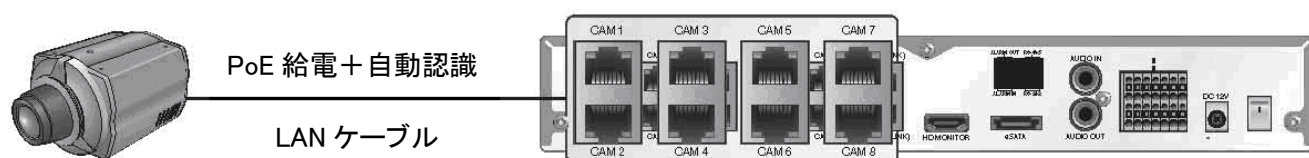


図 2-3 「RIP-2000 シリーズ」との接続

「RIP-2000 シリーズ」のカメラ入力用 LAN 端子に接続すると本製品を自動認識し、ネットワーク等の設定なしでストリーミングを開始することができます。

プラグ & プレイ機能の詳細については、「RIP-2000 シリーズ」の取扱説明書を参照してください。

3. PC からの LAN 接続

本製品に PC のブラウザから接続し、ライブ画面表示や設定変更等を行います。

※ あらかじめ PC と本製品を LAN ケーブルで接続してください。

3-1. MDload による IP アドレスの設定

付属のソフトウェアを使って、本製品の IP アドレスを変更することができます。

※ 初期設定では DHCP (IP アドレス自動取得) になっています。

1. 本製品に同梱されている CD-ROM を読み込みます。

2. CD-ROM 内の  を開きます。

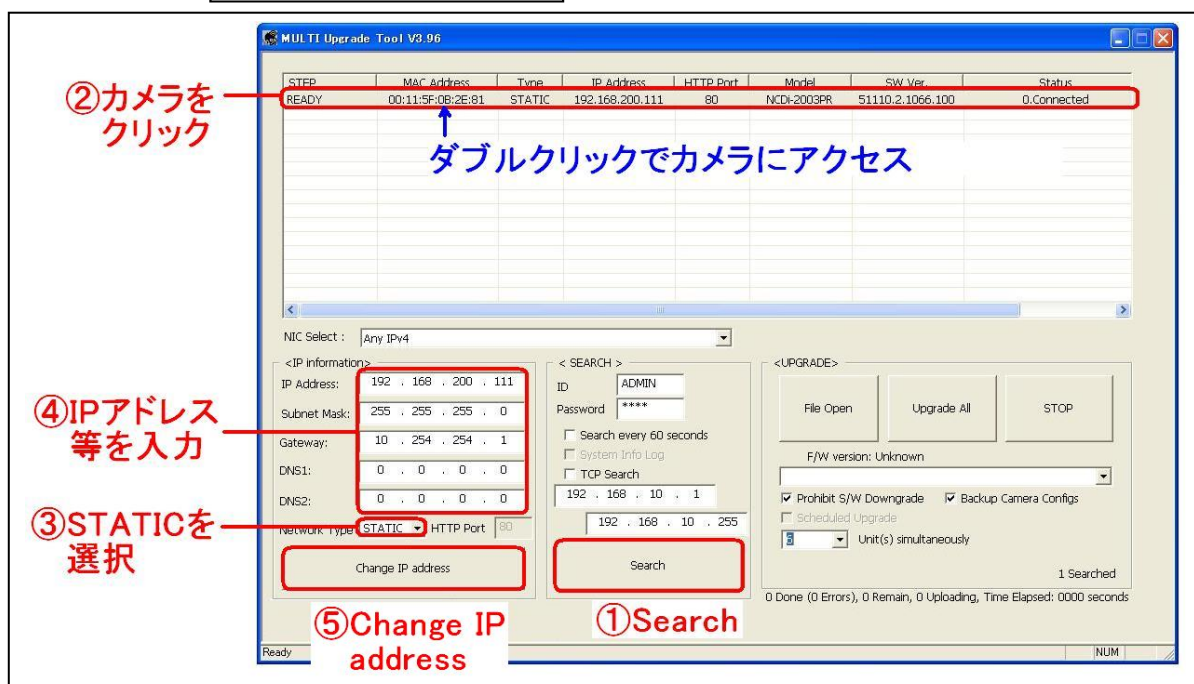


図 3-1 MDload

3. 以下の手順で、本製品の IP アドレスを変更します。

① 「**Search**」 をクリックして LAN 内の IP カメラを検索します。

② 検索結果から、設定を行う IP カメラを選択します。

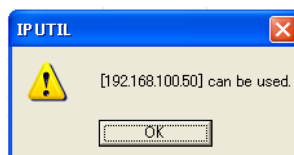
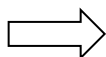
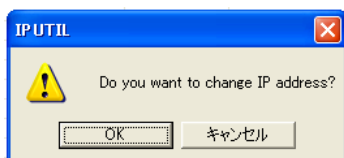
③ 「Network Type」 から 「**STATIC**」 を選択します。

※ DHCP サーバーからのアドレス自動取得を有効にする場合は、「**DHCP**」を選択します。

④ IP アドレス等の値を入力します。

⑤ 「**Change IP address**」 をクリックすると確認画面が表示されるので「OK」を選択します。

「 [O.O.O.O] can be used 」と表示されたら「OK」をクリックし、IP アドレスの変更完了となります。



3-2. ブラウザからのアクセス

Internet Explorer(7.0 以上)により本製品にアクセスし、ライブ画面表示や各種設定変更を行います。

1. MDload で設定したカメラをダブルクリックすると、ブラウザが起動し本製品にアクセスします。

STEP	MAC Address	Type	IP Address	HTTP Port	Model	SW
Disconnected	00:11:5F:0B:49:D5	STATIC	192.168.100.50	80		

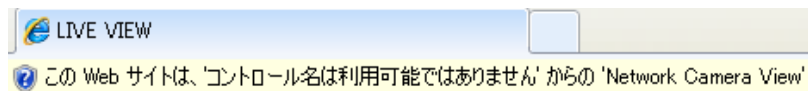
ダブルクリック

2. ログイン画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力します。

初期ユーザーID: ADMIN / 初期パスワード: 1234

※ ログイン画面が表示されない場合、PC の IP アドレス等の設定を確認してください。

3. 表示されるポップアップ(黄色いバー)をクリックし、アドオンを実行します。



クリック

※ 上記の手順で本製品にアクセスできない場合、ご使用の PC のネットワーク設定(IP アドレスが適切か など)およびセキュリティ設定(ActiveX のダウンロードが有効か など)をご確認ください。

4. 以下のように、本製品のライブ画面が表示され、カメラのリアルタイムの映像がストリーミングされます。



図 3-2 ライブ画面









4. ライブ画面

ライブ画面ではリアルタイムで音声双方向通信やデジタルズーム等の操作が可能です。


※ 文字表記が英語等になっている場合、画面下方の「Language」を「Japanese」に変更してください。



図 4 ライブ画面

アイコン	名前	用途
	音声出力	音声出力の ON/OFF を切替えます。 ON になっていると、カメラに入力された音声を PC から出力します。
	マイク入力	マイク入力の ON/OFF を切替えます。 クリックしている間、カメラに音声を送信し続けます。
	デジタルズーム	カメラのデジタルズーム画面に入ります。 ※ デジタルズーム画面の詳細は 4-1. デジタルズーム を参照してください。
	スナップショット	ライブ映像の静止画を保存します。
	全画面表示	全画面表示に切替えます。 画面をダブルクリックすると元のサイズに戻ります。
	ストリーム切替	ストリーム 1 とストリーム 2 を切替えます。 ※ ストリーミングの設定は 5-2-1. コーデック設定(ストリーミング設定) を参照してください。
	ストリーミング再開	ストリーミング中断時にクリックすると、ストリーミングを再開します。
	ストリーミング中断	ストリーミング中にクリックすると、ストリーミングを中断します。

4-1. デジタルズーム

ライブ画面で  をクリックするとデジタルズーム画面に入ります。

カメラのライブ映像を拡大して表示することができます。(2 倍～10 倍ズーム)

画面左上に全体のライブ映像が表示され、拡大して表示されている箇所が赤い枠で囲まれます。




図 4-1 デジタルズーム画面

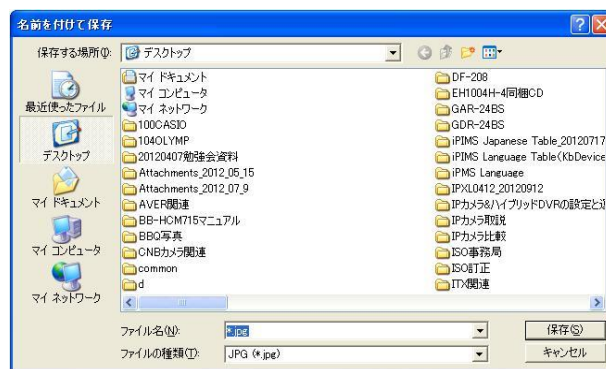
- ・ 表示範囲の変更 ... 画面左上に表示されている全体の映像の赤い枠をドラッグ＆ドロップで移動させることで、表示範囲を変更することができます。
- ・ ズームイン/ズームアウト ... 画面左上に表示されている全体の映像にマウスカーソルを置き、マウスホイールの上下でズームイン/ズームアウトを行うことができます。



4-2. スナップショット

ライブ画面で  をクリックすると、その瞬間のライブ映像の静止画を PC に保存します。

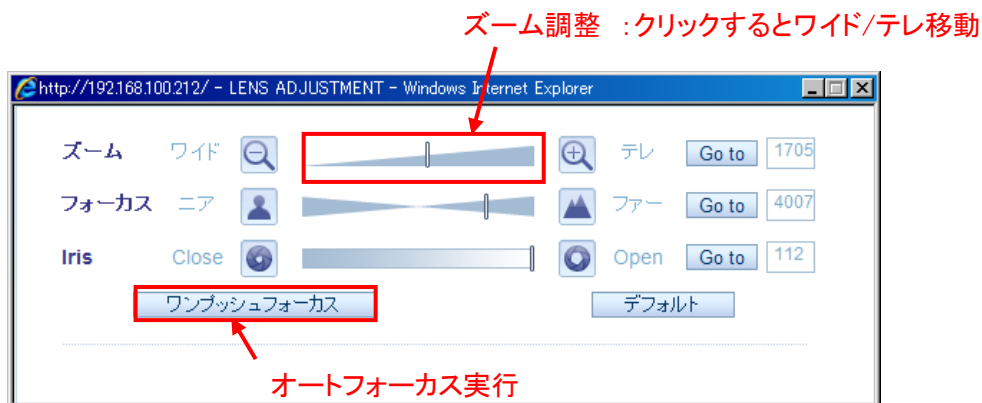
保存先を指定し、ファイル名を入力して「保存」を選択すると JPEG 形式の画像が生成されます。



4-3. 画角の調整

本製品はオートフォーカス機能を有しているため、ブラウザから画角の調整を行うことができます。

1. ライブ画面右下の「[レンズの調整](#)」をクリックします。
2. 下のようなズーム/フォーカス調整パネルが表示されます。
3. 「ズーム」の調整バーをクリックし、適切な倍率に合わせます。
4. 「ワンプッシュフォーカス」をクリックすると、自動的にフォーカスを調整します。
5. 調整が完了したらウィンドウを閉じます。



※ ズームの微調整を行う場合は、 または  をクリックするとそれぞれワイド側、テレ側にわずかに移動します。

※ フォーカス・Iris についても、ズームと同様にマニュアルで調整を行うことができます。

5. 各種設定

ライブ画面上方の **セットアップ** をクリックすると、カメラの設定画面に入ります。
カメラの映像設定やネットワーク設定等を行うことができます。

※ 設定を完了するとき

設定変更を行った際、設定を反映させるには必ず「保存」をクリックしてください。
「保存」せずにブラウザを閉じると、設定が反映されません。

保存 : 設定を保存、反映します。

リセット : 設定を破棄し、変更前の設定に戻します。

5-1. インストール設定

セットアップ > インストール

カメラのアナログ映像出力の設定を行います。

ライブ セットアップ WEBビューワー

インストール設定

インストール

- ビデオ
- 音声
- ライブ
- SDカード
- FTP
- イベント
- ネットワーク
- システム

アナログビデオ出力 NTSC

保存 リセット

Go to
[ビデオコーデック設定](#)

5-2. ビデオ設定

本製品のストリーミング設定(解像度・フレームレート等)およびカメラ設定(逆光補正・ホワイトバランス等)を行います。

5-2-1. コーデック設定(ストリーミング設定)

セットアップ > ビデオ > コーデック

ストリーミングの解像度やフレームレート等の設定を行います。

ライブ セットアップ WEBビューワー

インストール
ビデオ
 ▶ コーデック
 カメラ設定
音声
ライブ
FTP
イベント
ネットワーク
システム

ビデオコーデック

ストリーム	メイン	サブ
コーデック	H.264	H.264
サイズ	1920x1080	640x352
フレームレート(FPS)	30	30
GOP Size	30	30
Frames[1~60]		
ビットレート制御	CBR	CBR
平均ビットレート	2000	3000
kbps		
Quality	40	40
		[1~100]

Boost Quality OFF

フリッカレスモード 60Hz

画像反転 NONE

帯域制限 OFF

最大帯域 5000 kbps [1000kbps ~ 30Mbps]

保存 リセット

Go to
[インストールモード設定](#)
[カメラ設定](#)

図 5-2-1 コーデック設定

項目	内容
コーデック	ストリーミングの圧縮方式を選択します。(選択肢: NONE / H.264 / MJPEG) ※ メインストリームは H.264 以外選択できません。
サイズ	ストリーミングの解像度を選択します。(選択肢は次頁の表を参照)
フレームレート(FPS)	ストリーミングのフレームレートを選択します。 (選択肢: 2.5 / 2.7 / 3.0 / 3.3 / 3.8 / 4.3 / 5.0 / 6.0 / 7.0 / 10 / 15 / 30)
GOP Size	GOP サイズを入力します。(入力範囲: 1 ~ 60)
ビットレート制御	ビットレートモードを選択します。(選択肢: CBR / VBR) CBR(固定ビットレート) ... 画質が安定し、「平均ビットレート」で設定した値に近い帯域で安定したストリーミングを行います。 VBR(可変ビットレート) ... 映像の動きに合わせて帯域を変化させながら、最適な画質でストリーミングを行います。

コーデック設定項目

項目	内容
平均ビットレート	<p>ストリーミングの平均ビットレートを入力します。</p> <p>(入力範囲: 512kbps ~ 10000kbps)</p> <p>解像度ごとに、以下を目安に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 704x480 : 800kbps ~ 10kbps ・ 1280x720 : 3000kbps ~ 4000kbps ・ 1980x1080 : 6000kbps ~ 8000kbps
フリッカレスモード	<p>フリッカレス機能の周波数を選択します。(選択肢: 60Hz / 50Hz)</p> <p>フリッカレス機能 ... 交流電源の周波数のちがいにより、蛍光灯のちらつきなどが映りこむのを防ぐ機能です。</p> <p><u>西日本 ... 60Hz / 東日本 ... 50Hz を選択してください。</u></p>
画像反転	<p>映像の反転・回転を行います。</p> <p>(選択肢: NONE / HORIZONTAL / VERTICAL / FLIP(H+V))</p> <p>HORIZONTAL: 水平方向に反転</p> <p>VERTICAL: 垂直方向に反転</p> <p>FLIP(H+V): 180 度回転</p>
帯域制限	使用する帯域に制限をかけるかどうかを設定します。(選択肢: ON/OFF)
最大帯域	<p>帯域制限を ON にした場合、最大の帯域を入力して設定します。</p> <p>(入力範囲: 1000~30000)</p>

注意 : デュアルストリームについて

本製品はデュアルストリーム機能を搭載しており、メインストリームのほかにサブストリームを同時に出力することができます。

ただし、アナログ映像出力を ON にしている場合はサブストリームを利用することができません。

(詳細は 5-1. インストール設定 を参照してください。)

メインストリームの解像度によって、出力可能なサブストリームの解像度が以下のように制限されます。

メイン	サブ							
1920x1080	704x480	640x480	640x360	640x352	352x288	352x240	320x240	-
1280x1024	704x480	640x480	640x360	352x288	352x240	320x240	-	-
1024x768	704x480	640x480	640x360	352x288	352x240	320x240	-	-
1280x720	1280x720	704x576	704x480	640x480	640x360	352x288	352x240	320x240
704x576	704x576	640x480	640x360	352x288	-	-	-	-
704x480	704x480	640x480	640x360	352x240	-	-	-	-
640x480	640x480	320x240	-	-	-	-	-	-
640x360	640x360	320x240	-	-	-	-	-	-
352x288	352x288	-	-	-	-	-	-	-
352x240	352x240	-	-	-	-	-	-	-
320x240	320x240	-	-	-	-	-	-	-

5-2-2. カメラ設定

セットアップ > ビデオ > カメラ設定

カメラの各種機能の設定や画像調整を行います。

The screenshot shows the 'カメラ設定' (Camera Settings) page. On the left is a sidebar with a tree view containing: インストール, ビデオ, オーディオ, **カメラ設定**, 音声, ライブ, SDカード, FTP, イベント, ネットワーク, システム. The main content area has tabs for 'ライブ' and 'セットアップ', with 'セットアップ' selected. At the top right is a 'WEBビューワー' button. Below the tabs is a live video feed showing a dark scene with a 'Kb Device' logo. In the bottom right of the video feed, technical details are displayed: 1280X720, 2012/09/25, 18:42:18. Below the video feed are three main settings sections: 1. '露出制御' (Exposure Control) with settings: 露出モード (AUTO), AGCゲイン (0 dB [0 ~ 36]), 電子シャッタースピード (30 1/(値) [4 ~ 2000]), スローシャッター (OFF), 最大AGC (LOW), アイリス制御 (AUTO), 逆光補正 (OFF). 2. 'ホワイトバランス制御' (White Balance Control) with settings: モード (AUTO), 手動モード (INDOOR (2800K)). 3. '画質設定' (Image Quality Settings) with settings: シャープネス (8 [1 ~ 15, 初期値: 8]), ブライツネス (15 [0 ~ 30, 初期値: 15]), コントラスト (15 [0 ~ 30, 初期値: 15]), カラー (15 [0 ~ 30, 初期値: 15]). At the bottom, there is a 'デイ・ナイトモード' (DAY/NIght mode) setting (AUTO, 0 sec) and a 'フリッカレス' (Flickerless) section with a link to 'フリッカレス設定へ移動'. At the very bottom are '保存' (Save) and 'リセット' (Reset) buttons.

図 5-2-2 カメラ設定

カメラ設定項目

項目		内容
露出制御	露出モード	自動露出の ON/OFF を切替えます。 (選択肢: MANUAL / AUTO(indoor) / AUTO(outdoor))
	AGC ゲイン	ゲインを手動で設定します。(入力範囲: 1 ~ 30dB) ※ 露出モードを「MANUAL」にした際に設定可能です。
	電子シャッタースピード	電子シャッタースピードを手動で設定します。(入力範囲: 1/4 ~ 1/2000) ※ 露出モードを「MANUAL」にした際に設定可能です。
	スローシャッター	スローシャッターの ON/OFF を切替えます。(選択肢: ON/OFF) 比較的暗い場所で撮影する際は ON に設定します。
	最大 AGC	AGC によって得られるゲインの最大を選択します。(選択肢: LOW/HIGH) 比較的暗い場所で撮影する際は HIGH に設定します。
	逆光補正	逆光補正機能(BLC)の ON/OFF を切替えます。(選択肢: ON/OFF) 逆光の発生する場所で撮影する際は ON に設定します。

カメラ設定項目

	項目	内容
露 出 制 御	デイ・ナイトモード	<p>デイ&ナイト機能の ON/OFF および切替のタイミングを設定します。</p> <p>(選択肢: AUTO / DAY / NIGHT)</p> <p>(選択肢: 0 sec / 5 sec / 10 sec / 15 sec / 30 sec / 60 sec / Alarm In)</p> <p>AUTO: 日中はカラー、夜間はモノクロに自動的に切換えて撮影します。</p> <p>DAY: 常にカラーで撮影します。</p> <p>NIGHT: 常にモノクロで撮影します。</p> <p>切替タイミング: カラー/モノクロの自動切換えの間隔を指定します。</p> <p>「Alarm In」に設定すると、カメラがセンサー入力を検知した際に切換えます。</p>
ホ ワ イ ト バ ラ ン ス 制 御	モード	<p>オート・トラッキング・ホワイトバランス機能(ATW)の ON/OFF を設定します。</p> <p>(選択肢: MANUAL / AUTO / AUTO(wide mode))</p>
	手動モード	<p>ホワイトバランス手動で設定します。</p> <p>(選択肢: INDOOR / OUTDOOR / FLUORESCENT)</p> <p>INDOOR: 屋内で撮影する際に選択します。</p> <p>OUTDOOR: 屋外で撮影する際に選択します。</p> <p>FLUORESCENT: 蛍光灯の下で撮影する際に選択します。</p>
画 質 設 定	シャープネス	映像のシャープネスを設定します。(入力範囲: 1～15)
	ブライトネス	映像の輝度を設定します。(入力範囲: 1～30)
	コントラスト	映像のコントラストを設定します。(入力範囲: 1～30)
	カラー	映像の色合いを設定します。(入力範囲: 1～30)

5-3. 音声設定

カメラの音声入出力のボリューム等の設定を行います。

5-3-1. 音声機器の接続

カメラ本体背面のアラーム/音声端子に、以下のように音声機器を接続してください。

※ 音声入力/音声出力ともにラインレベルの機器を接続してください。

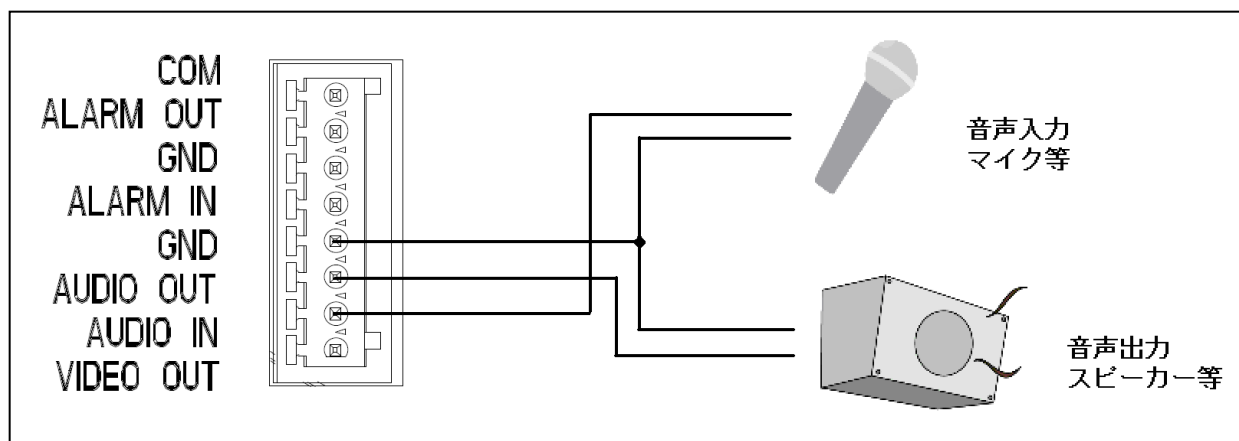
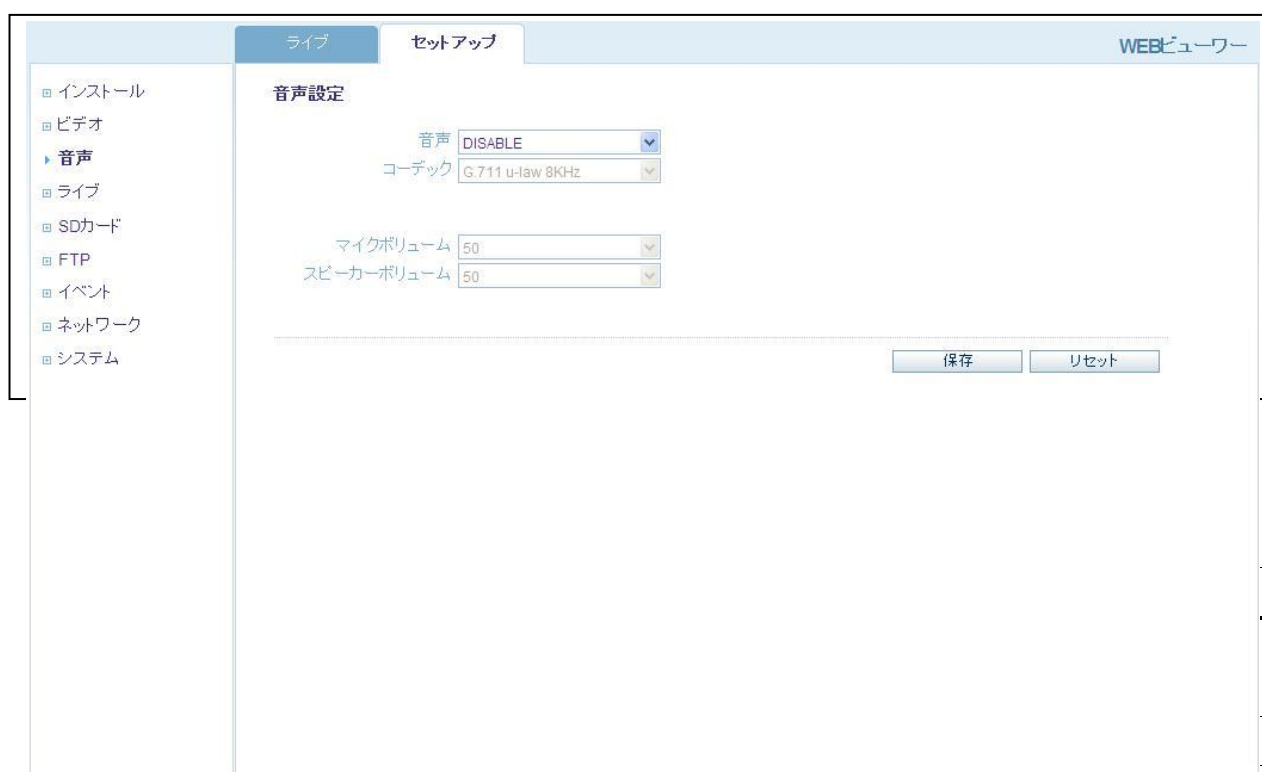


図 5-3-1 音声端子接続図

5-3-2. 設定画面

セットアップ > 音声



マイクボリューム 音声入力端子の音量を調整します。(入力範囲: 1 ~ 100)

スピーカーボリューム 音声出力端子の音量を調整します。(入力範囲: 1 ~ 100)

5-4. ライブ設定

セットアップ > ライブ

ブラウザのライブ画面の設定を行います。

ライブ
設定

※ 通常は、RTP over RTSP (TCP) を選択してください。

(選択肢: RTP Unicast (UDP) / RTP Multicast (UDP) / RTP over RTSP (TCP))

バッファ時間

バッファ処理を行う時間を設定します。(入力範囲: 0 ~ 90)
ストリーミングでコマ落ちが生じるときは、この値を大きく設定してください。

OSD
日付

ライブ画面に日時を表示させるかどうかを設定します。
(選択肢: ON / OFF)

OSD
解像度

ホワイトバランス手動で設定します。
(選択肢: INDOOR / OUTDOOR / FLUORESCENT)
INDOOR: 屋内で撮影する際に選択します。
OUTDOOR: 屋外で撮影する際に選択します。
FLUORESCENT: 蛍光灯の下で撮影する際に選択します。

イベント状態

カメラにアラーム入力やモーションがあった際にライブ画面上に通知するかどうかを設定します。(選択肢: ON/OFF)
「ON」 にすると、ライブ画面左上にアイコンが表示されます。

5-5. SD カード設定

イベント発生時などに、カメラ本体に挿入した Micro SD カードに静止画を保存することができます。

Micro SD カードスロットの位置は [1-3. カメラ各部の名称](#) を参照してください。

※ この機能を利用するには、設定を以下のように行ってください。

- ・ アナログ映像出力を OFF にしてください。([5-1. インストール設定](#) 参照)
- ・ メインストリームの解像度を 1280 x 720 以下に設定してください。([5-2-1. コーデック設定\(ストリーミング設定\)](#) 参照)
- ・ メインストリームの解像度を 1280 x 720 に設定した場合、サブストリームのコーデックを「MJPEG」または「NONE」に設定してください。([5-2-1. コーデック設定\(ストリーミング設定\)](#) 参照)

5-5-1. SD カード設定

セットアップ > SD カード > 設定

図 5-5-1 SD カード設定

「アンマウント」・・・ クリックすると Micro SD カードを安全に取外します。

画像の消去

「消去」をクリックすると、Micro SD カードに保存した静止画をすべて削除します。

5-5-2. イベント SD 書き込み設定

セットアップ > SD カード > イベント

イベント発生時の Micro SD カードへの静止画保存の設定を行います。

ライブ セットアップ WEBビューワー

SDカードへの書き込み

書き込み ☐ 有効 ☒ 無効

ディレクトリ

ファイル名 (例) aim_

イベントマッピング ☐ アラームイン ☐ モーション

有効期間 ☒ 常時 ☐ スケジュール

00 00 - 00 00

保存 リセット

Go to [ビデオコーデック設定](#)

<Note>
Before using SD card storage function:
1. Please turn off "installation mode".
2. Please set first stream to "1280x720", and second stream to "MJPEG" or "NONE".
3. If first stream is set to under "1280x720", don't mind second stream configuration.

図 5-5-2 イベント SD 書き込み設定

イベント SD 書き込み設定項目

項目	内容
書き込み	イベント発生時、Micro SD カードへの静止画保存を有効にするか、無効にするかチェックを入れて設定します。
ディレクトリ	保存先のディレクトリを指定します。
ファイル名	ファイル名の先頭を入力します。 実際のファイル名は、自動的に日時の数字が付加されます。
イベントマッピング	静止画保存を行うイベントのトリガを選択します。 <u>アラームイン</u> : チェックを入れると、カメラのアラーム入力に信号が入った際に静止画を保存します。 <u>モーション</u> : チェックを入れると、モーション検知を行った際に静止画を保存します。 ※ アラーム/モーションの設定は 5-6. イベント設定 を参照してください。
有効時間	静止画保存を有効とする時間帯を設定します。 <u>常時</u> : チェックを入れると、24 時間静止画保存が有効になります。 <u>スケジュール</u> : チェックを入れると、指定した時間帯で静止画保存を有効とします。 直下のプルダウンメニューから有効にする時間帯を指定します。

5-5-3. 定期 SD 書き込み設定

セットアップ > SD カード > 定期書き込み

Micro SD カードへ静止画を定期的に保存する設定を行います。

図 5-5-3 定期 SD 書き込み設定

定期 SD 書き込み設定項目

項目	内容
書き込み	Micro SD カードへの定期的な静止画保存を有効にするか、無効にするかチェックを入れて設定します。
ディレクトリ	保存先のディレクトリを指定します。
ファイル名	ファイル名の先頭を入力します。 実際のファイル名は、自動的に日時の数字が付加されます。
間隔	静止画保存の時間間隔を設定します。(選択肢: 10sec / 20sec / 30sec / 1min / 2min / 5min / 10min / 20min / 30min / 1hour) 例として 20sec に設定した場合、以下のように画像が保存されます。 10 時 00 分 00 秒、10 時 00 分 20 秒、10 時 00 分 40 秒、10 時 01 分 00 秒、…
有効時間	静止画保存を有効とする時間帯を設定します。 <u>常時</u> : チェックを入れると、24 時間静止画保存が有効になります。 <u>スケジュール</u> : チェックを入れると、指定した時間帯で静止画保存を有効とします。 直下のプルダウンメニューから有効にする時間帯を指定します。

5-6. FTP 設定

イベント発生時などに、ネットワーク上のサーバー(FTP サーバー)に静止画を保存することができます。

※ この機能を利用するには、設定を以下のように行ってください。

- ・ アナログ映像出力を OFF にしてください。(5-1. インストール設定 参照)
- ・ メインストリームの解像度を 1280 x 720 以下に設定してください。(5-2-1. コーデック設定(ストリーミング設定) 参照)
- ・ メインストリームの解像度を 1280 x 720 に設定した場合、サブストリームのコーデックを「MJPEG」または「NONE」に設定してください。(5-2-1. コーデック設定(ストリーミング設定) 参照)

5-6-1. サーバー設定

セットアップ > FTP > 設定

静止画の保存先の FTP サーバーの設定を行います。

ライブ セットアップ WEBビューワー

インストール
ビデオ
音声
ライブ
SDカード
FTP
設定
イベント
定期送信
イベント
ネットワーク
システム

サーバー設定

FTPサーバー Disable 記録されたイメージのダウンロード用

クライアント設定

サーバーIP 0.0.0.0
ポート 21 [初期値:21, 1025~65535]
ユーザー名
パスワード
Send mode Active

保存 リセット

Go to
ビデオコーデック設定

項目	内容
FTP サーバー	ネットワークサーバー(FTP サーバー)への静止画の保存を有効にするか無効にするか設定します。(選択肢: ENABLE / DISABLE)
サーバーIP	サーバーの IP アドレスを入力します。
ポート	FTP に使用するポート番号を入力します。(入力範囲: 21 または 1025～65535)
ユーザー名	FTP サーバーに登録してあるユーザー名を入力します。
パスワード	ユーザー名に対するパスワードを入力します。
Send mode	FTP サーバーの設定に応じて Active / Passive を設定します。 (選択肢: Active / Passive)

5-6-2. イベント FTP 送信設定

セットアップ > FTP > イベント

イベント発生時のネットワークサーバーへの静止画保存の設定を行います。

ライブ セットアップ WEBビューワー

インストール
ビデオ
音声
ライブ
SDカード
FTP
設定
イベント
定期送信
イベント
ネットワーク
システム

イベント FTP 送信

FTP 送信 ☐ 有効
☒ 無効

ディレクトリ

ファイル名 (例) alm_

イベントマッピング ☐ アラームイン
☐ モーション

有効期間 ☒ 常時
☐ スケジュール
00 00 - 00 00

保存 リセット

Go to
[ビデオコーデック設定](#)

図 5-6-2 イベント FTP 送信設定

イベント FTP 送信設定項目

項目	内容
FTP 送信	イベント発生時の、ネットワークサーバーへの静止画保存を有効にするか、無効にするかチェックを入れて設定します。
ディレクトリ	保存先のネットワークサーバーのディレクトリを指定します。
ファイル名	ファイル名の先頭を入力します。 実際のファイル名は、自動的に日時の数字が付加されます。
イベントマッピング	静止画保存を行うイベントのトリガを選択します。 <u>アラームイン</u> : チェックを入れると、カメラのアラーム入力に信号が入った際に静止画を保存します。 <u>モーション</u> : チェックを入れると、モーション検知を行った際に静止画を保存します。 ※ アラーム/モーションの設定は <u>5-7. イベント設定</u> を参照してください。
有効時間	静止画保存を有効とする時間帯を設定します。 <u>常時</u> : チェックを入れると、24 時間静止画保存が有効になります。 <u>スケジュール</u> : チェックを入れると、指定した時間帯で静止画保存を有効とします。 直下のプルダウンメニューから有効にする時間帯を指定します。

5-6-3. FTP 定期送信

セットアップ > FTP > 定期送信

ネットワークサーバーへ静止画を定期的に保存する設定を行います。

The screenshot shows the 'FTP定期送信' (FTP Periodic Transfer) configuration page. The left sidebar contains a menu with items like 'インストール', 'ビデオ', '音声', 'ライブ', 'SDカード', 'FTP', '設定', 'イベント', '定期送信', 'イベント', 'ネットワーク', and 'システム'. The 'FTP' section is expanded, showing '設定' (Settings), 'イベント' (Events), and '定期送信' (Periodic Transfer). The '定期送信' sub-section is active, displaying the following settings:

- FTP送信** (FTP Transfer): ☒ 有効 (Enabled), ☐ 無効 (Disabled)
- ディレクトリ** (Directory):
- ファイル名** (File Name): (例) per_
- 間隔** (Interval):
- 有効期間** (Valid Period): ☒ 常時 (Always), ☐ スケジュール (Schedule)
- スケジュール** (Schedule): : : - : :

At the bottom right, there are buttons for '保存' (Save) and 'リセット' (Reset). At the bottom left, there is a link 'Go to ビデオコーデック設定' (Go to Video Codec Settings).

図 5-6-3 FTP 定期送信設定

FTP 定期送信設定項目

項目	内容
FTP 送信	ネットワークサーバーへの定期的な静止画保存を有効にするか、無効にするかチェックを入れて設定します。
ディレクトリ	保存先のネットワークサーバーのディレクトリを指定します。
ファイル名	ファイル名の先頭を入力します。 実際のファイル名は、自動的に日時の数字が付加されます。
間隔	静止画保存の時間間隔を設定します。(選択肢: 10sec / 20sec / 30sec / 1min / 2min / 5min / 10min / 20min / 30min / 1hour) 例として 20sec に設定した場合、以下のようにの画像が保存されます。 10 時 00 分 00 秒、10 時 00 分 20 秒、10 時 00 分 40 秒、10 時 01 分 00 秒、…
有効時間	静止画保存を有効とする時間帯を設定します。 <u>常時</u> : チェックを入れると、24 時間静止画保存が有効になります。 <u>スケジュール</u> : チェックを入れると、指定した時間帯で静止画保存を有効とします。 直下のプルダウンメニューから有効にする時間帯を指定します。

5-7. イベント設定

カメラのアラーム入出力端子やモーション検知の設定を行います。

5-7-1. センサー・アラーム機器の接続

カメラ本体背面のアラーム/音声端子に、以下のようにアラーム機器を接続してください。

※ アラーム入力は最大 DC5V まで入力可能です。

アラーム入力は A 接点（ノーマリ・オープン）および B 接点（ノーマリ・クローズ）選択型です。

※ アラーム出力は最大 DC50V または AC35V（最大電流 110mA）で付加することができます。

アラーム出力は A 接点で出力されます。

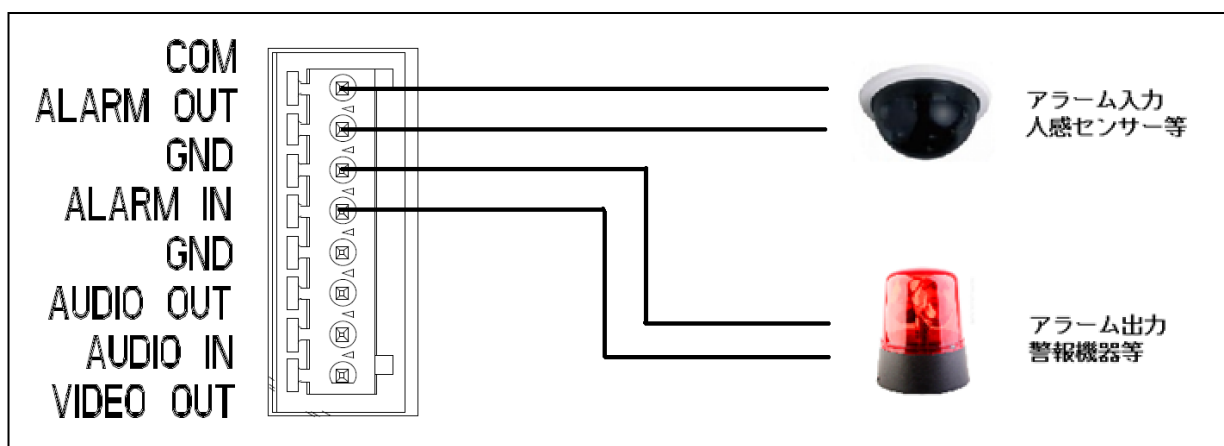


図 5-7-1 センサー・アラーム機器接続図

5-7-2. アラームポート設定

セットアップ > イベント > アラームポート

入
力

タイプ

アラーム入力の種類を選択します。(選択肢: N/O / N/C)

N/O: 接続するセンサー機器の仕様がノーマリ・オープン(A 接点)のとき

N/C: 接続するセンサー機器の仕様がノーマリ・クローズ(B 接点)のとき

名前

アラーム入力の名称を入力します。

ア
ラ
ーム
出
力

動作

アラーム出力(警報機器等の動作)の有効/無効を設定します。

(選択肢: ALARM OUT / ON / OFF)

ALARM OUT: イベントの発生(アラーム入力/モーション)に応じて動作の ON/OFF を切換えます。

ON: 常に ON にします。

OFF: 常に OFF にします。

※ アラーム出力は A 接点で出力されます。

モード

アラーム出力の保持形式を選択します。(選択肢: SYNC / LATCH)

SYNC: イベントの発生中は ON に保持され、イベントが終了すると OFF に切換えます。

LATCH: 設定した「保持時間」ON に保持し、その後 OFF に切換えます。

保持時間

「SYNC」モードでアラーム出力時、ON に保持する時間を設定します。

(選択肢: 5sec / 10sec / 15sec / 20sec / 30sec / 40sec / 60sec / 120sec / 180sec / 300sec)

5-7-3. モーション設定

セットアップ > イベント > モーション

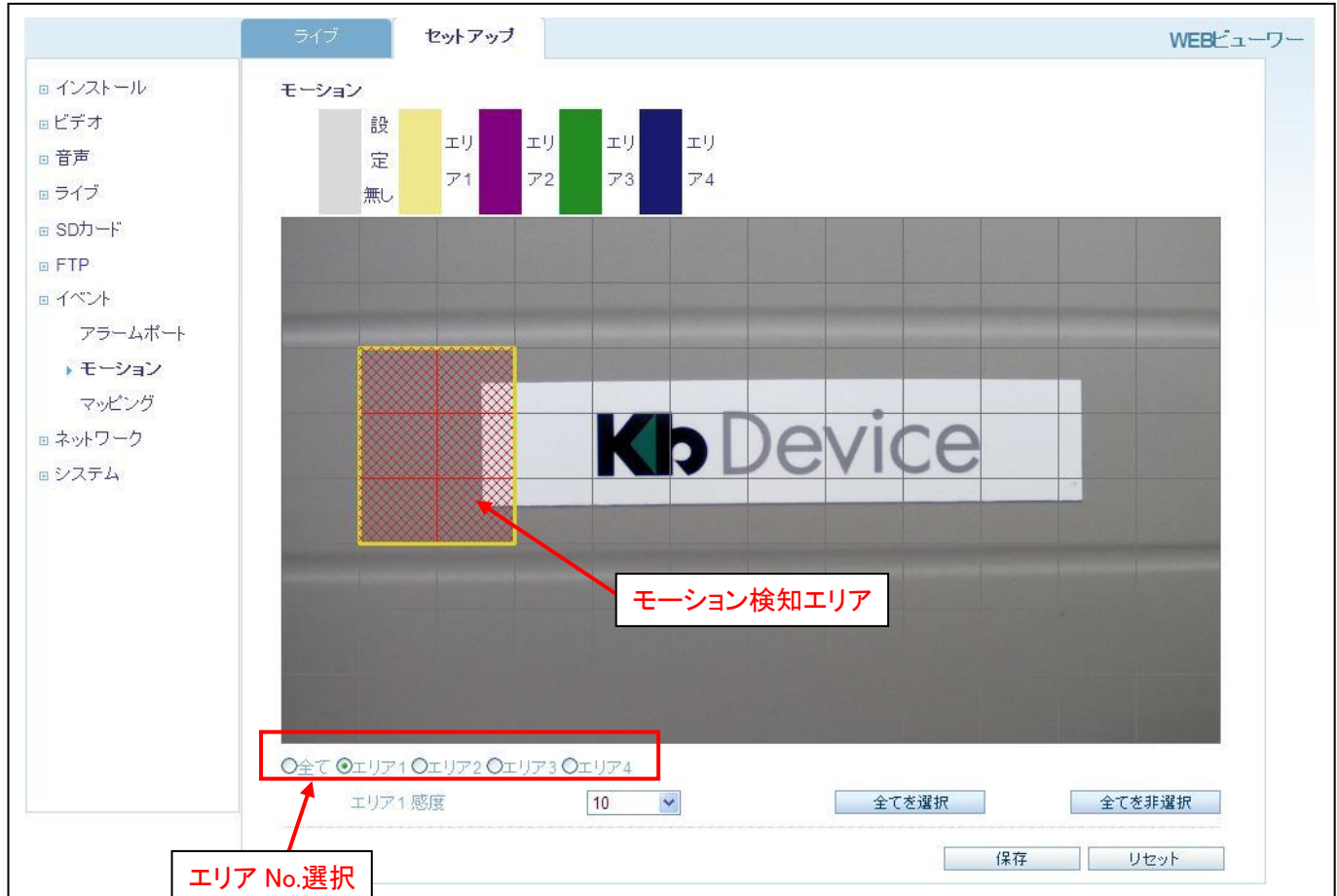


図 5-7-3 モーション設定

以下の手順で、モーション検知エリアおよび感度の設定を行います。

※ モーション検知エリアは 4 箇所まで設定できます。

1. エリア No.選択のチェックボックスで、「エリア 1」を選択します。
2. 表示されているライブ画面上でモーション検知エリアを選択します。(ドラッグ&ドロップで範囲指定します。)
「全てを選択」をクリックすると、全範囲をモーション検知エリアとして選択します。
「全てを非選択」をクリックすると、選択したすべての範囲をクリアします。
3. 「エリア 1 感度」でモーション検知の感度を設定します。(選択肢: 1～10 (10 段階))
4. 複数のエリアを設定する場合は 1. ～ 3. を繰り返し、エリア 2～エリア 4 を設定します。
5. エリア No.選択のチェックボックスで、「全て」を選択すると、エリア 1～エリア 4 で選択したモーション検知エリアがすべて表示されます。
6. 「保存」をクリックして設定を反映させます。

5-7-4. アクション設定(イベントマッピング設定)

セットアップ > イベント > マッピング

アラーム入力端子に信号が入った際や、モーションを検知した際にどのアクションを行うかを設定します。

インストール

ビデオ

音声

ライブ

SDカード

FTP

イベント

アラームポート

モーション

マッピング

ネットワーク

システム

ライブ

セットアップ

WEBビューワー

イベントマッピング

イベント種類	アラーム出力	Eメール
アラーム入力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
モーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

保存リセット

Go to

[Eメール設定](#)

[アラームポート](#)

[モーション](#)

アラーム入力	チェックを入れると、カメラにアラーム入力信号が入った際にアラーム出力を ON にします。	チェックを入れると、カメラにアラーム入力信号が入った際に E メールを送信します。
モーション	チェックを入れると、モーションを検知した際にアラーム出力を ON にします。	チェックを入れると、モーションを検知した際に E メールを送信します。

5-8. ネットワーク設定

カメラ本体の IP アドレスや、E メールアドレス等の設定を行います。

5-8-1. IP アドレス設定

セットアップ > ネットワーク > IP 設定

カメラ本体の IP アドレスの設定を行います。

項目	内容
チェック項目	IP アドレスを自動で取得(DHCP)： カメラの IP アドレスを DHCP サーバーから自動取得する際にチェックを入れます。 次の IP アドレスを使う： カメラの IP アドレスを入力、固定する際にチェックを入れます。
IP アドレス	カメラの IP アドレスを入力します。(例： 192.168.1.10) 「PING テスト」をクリックすると PC からの PING 応答を確認することができます。 「This address is currently in use.」と表示されると PING 応答があります。
サブネットマスク	カメラのサブネットマスクを入力します。(例： 255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイ(ルータ等の IP アドレス)を入力します。(例： 192.168.1.10)
優先 DNS	第 1DNS サーバーアドレスを入力します。(例： 192.168.1.1)
代替 DNS	第 2DNS サーバーアドレスを入力します。(例： 0.0.0.0)

5-8-2. ポート設定

セットアップ > ネットワーク > IP 設定

カメラが使用するポート番号の設定を行います。

The screenshot shows the 'Port Setting' page in the camera's web interface. The left sidebar contains a menu with options: インストール, ビデオ, 音声, ライブ, SDカード, FTP, イベント, ネットワーク, IP設定, ポート設定 (selected), RTP, Eメール, UPnP, システム. The main area has tabs for 'ライブ' and 'セットアップ'. Under 'セットアップ', the 'ポート設定' section is active. It displays two input fields: 'HTTPポート' with the value '80' and a range '[初期値:80, 1~65535]', and 'RTSPポート' with the value '554' and a range '[初期値:554, 1~65535]'. At the bottom right of the main area are two buttons: '保存' (Save) and 'リセット' (Reset).

5-8-3. RTP 設定

セットアップ > ネットワーク > RTP

※ 本項目は設定を変更しないでください。ライブストリーミングを「RTP over RTSP (TCP)」に設定している場合、(5-4. ライブ設定 参照)

The screenshot shows the 'RTP Setting' page in the camera's web interface. The left sidebar is the same as in the previous screenshot, with 'RTP' selected under the 'ポート設定' category. The main area has tabs for 'ライブ' and 'セットアップ'. Under 'セットアップ', the 'RTP 設定' section is active. It is divided into two parts: 'RTPポート範囲' and 'マルチキャスト設定'. In the 'RTPポート範囲' section, there are two input fields: '開始ポート' with the value '50000' and range '[1024~65524]', and '終了ポート' with the value '60000' and range '[1035~65535]'. The 'マルチキャスト設定' section has two groups of settings. The first group, for 'メインストリームIP', includes 'メインストリームIP' (239.11.95.108, range '[空欄:自動生成,DクラスIP]'), 'ビデオポート' (0, range '[0, 1024~65534: 偶数のみ]'), '音声ポート' (0, range '[0, 1024~65534: 偶数のみ]'), and 'TTL' (5, range '[1~255]'). The second group, for 'サブストリームIP', includes 'サブストリームIP' (224.11.95.108, range '[空欄:自動生成,DクラスIP]'), 'ビデオポート' (0, range '[0, 1024~65534: 偶数のみ]'), '音声ポート' (0, range '[0, 1024~65534: 偶数のみ]'), and 'TTL' (5, range '[1~255]'). At the bottom right of the main area are two buttons: '保存' (Save) and 'リセット' (Reset).

5-8-4. Eメール設定

セットアップ > ネットワーク > Eメール

Eメール送信に使用するメールサーバーの設定を行います。

WEBビューワー

ライブ セットアップ

Eメール設定

Eメール通知 OFF

通知間隔 5 Min

サーバー

ポート 25

セキュリティ OFF

ユーザー名

パスワード

From

保存 リセット

Go to

[イベント通知設定](#)

[イベントマッピング設定](#)

Eメール通知 Eメール送信を行うかどうかを設定します。(選択肢: ON/OFF)

通知間隔 Eメールを送信する間隔を設定します。
(選択肢: 5Min / 10Min / 15Min / 30Min / 60Min)

サーバー 使用するメールサーバーのアドレスを入力します。

ポート メール送信(SMTP)ポート番号を入力します。

セキュリティ メールサーバーがユーザー認証を必要とする場合は「ON」に設定します。
(選択肢: ON/OFF)

ユーザー名 メールサーバーに登録したユーザー名を入力します。

パスワード ユーザー名に連動するパスワードを入力します。

From 送信元(カメラ本体)の任意のメールアドレスを入力します。

5-8-5. UPnP 設定

セットアップ > ネットワーク > UPnP

本項目はかならず「ON」に設定してください。

WEBビューワー

ライブ セットアップ

UPnP設定

UPnP ON

保存 リセット

5-9. システム設定

カメラのユーザー登録や日時の設定等を行います。

5-9-1. ユーザー設定

セットアップ > システム > ユーザー

カメラ本体にログインするためのユーザー登録を行います。

※ 初期設定では ユーザーID:ADMIN / パスワード:1234 のユーザーが登録済みです。

ユーザーID	パスワード	グループ	Eメール	Eメール通知	追加/削除
ADMIN	••••	Admin		<input type="checkbox"/>	
		Admin		<input type="checkbox"/>	追加

保存 リセット

Go to
[Eメール設定](#)

1
2
3.

3. 「パスワード」には念のためパスワードを入力します。

4. 「グループ」を選択します。

Admin: カメラのすべての操作が実行できます。

User: カメラのライブ映像は見ることができますが、セットアップ画面に入ることができません。

5. 「Eメール」にイベント発生時に送信する、送信先Eメールアドレスを入力します。(入力任意)

6. メール送信を有効にする場合、「Eメール通知」にチェックを入れます。

7. 「保存」をクリックして設定を反映させます。

5-9-2. 日時設定

セットアップ > システム > 日付/時間

ライブ画面に表示されるカメラの時計の設定を行います。

現在の時間	カメラ本体に設定されている現在時刻が表示されます。
日付表示	日付の表示形式を選択します。 (選択肢: YYYY/MM/DD 、 MM/DD/YYYY 、 DD/MM/YYYY)
時間表示	時刻の表示形式を選択します。(選択肢: 24Hour 、 AM/PM)
NTP サーバー	NTP サーバーによる時刻同期を行う際は「NTP サーバーに同期」にチェックを入れ、NTP サーバーのアドレスを入力します。
時間設定	時刻を入力して設定する場合は「手動で設定」にチェックを入れ、現在の日時を入力します。 「PC 時間に同期」をクリックすると、接続中の PC の時刻が同期されます。
タイムゾーン	<u>「GMT+09:00 Asia/Seoul」 以外は選択しないでください。</u>
D.S.T	<u>かならず「OFF」に設定してください。</u>

5-9-3. メンテナンス

セットアップ > システム > メンテナンス

カメラの再起動やファームウェアアップデートを行います。

ウェブインターフェースの「メンテナンス」画面のスクリーンショット。左側のナビゲーションメニューには「インストール」、「ビデオ」、「音声」、「ライブ」、「SDカード」、「FTP」、「イベント」、「ネットワーク」、「システム」、「ユーザー」、「日付/時間」、「メンテナンス」、「システム情報」がリストアップされている。メインコンテンツエリアには「メンテナンス」タブが選択されており、システム名（NetCamera）、システム再起動（OK）、工場出荷時に戻す（OK）、ファームウェア更新（参照...、OK）の項目がある。右下には「保存」と「リセット」のボタンがある。

メンテナンス画面項目

項目	内容
システム名	カメラのシステムの名称を入力します。（任意）
システム再起動	「OK」を選択するとカメラ本体が再起動します。
工場出荷時に戻す	「OK」を選択するとカメラのすべての設定が初期状態にリセットされます。 注意： <u>カメラの IP アドレスが変更されるため、再度ブラウザから接続できなくなる可能性があります。</u> <u>再度カメラにアクセスする場合は、付属の「MDload」を使用してください。（ 4. PC からの LAN 接続 参照 ）</u>
ファームウェア更新	カメラのファームウェアのアップデートを行います。 1. 「参照」をクリックし、ファームウェアデータを指定します。 2. 「OK」をクリックするとファームウェアアップデートを開始します。 注意： <u>ファームウェアアップデートにはおよそ 5 分かかります。</u> <u>アップデート実行中は絶対に LAN ケーブルや電源ケーブルを抜かないでください。</u> <u>アップデートを実行すると、カメラのすべての設定が初期状態にリセットされます。</u>

5-9-4. システム情報

セットアップ > システム > システム情報

カメラのシステム情報を確認することができます。



SWバージョン	カメラのファームウェアバージョンです。 ファームウェアアップデートについては 5-9-3. メンテナンス を参照してください。
モデル名	カメラの品番です。
MAC アドレス	カメラの MAC アドレスです。
IP アドレス	カメラの IP アドレスです。 IP アドレスの設定については 5-8-1. IP アドレス設定 を参照してください。
サブネットマスク	カメラのサブネットマスクです。 サブネットマスクの設定については 5-8-1. IP アドレス設定 を参照してください。
デフォルトゲートウェイ	カメラのゲートウェイです。 ゲートウェイの設定については 5-8-1. IP アドレス設定 を参照してください。
優先 DNS	カメラの第 1DNS サーバーです。 優先 DNS の設定については 5-8-1. IP アドレス設定 を参照してください。
代替 DNS	カメラの第 1DNS サーバーです。 優先 DNS の設定については 5-8-1. IP アドレス設定 を参照してください。
DDNS サーバー	DDNS サーバーのドメイン名です。 ※ 本製品は DDNS サービスを使用できません。

6. 工場出荷時の初期設定

6-1. 工場出荷時の設定に戻す

以下の手順で、本製品のすべての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. カメラを通電状態にします。(PoE、DC12V 等)
2. カメラ本体のリセットボタンを 20 秒間押します。
カメラ本体のステータス LED が赤色に点滅します。
3. カメラが自動的に再起動されます。(約 1 分間)

注意:

カメラの IP アドレスが変更されるため、再度ブラウザから接続できなくなる可能性があります。

再度カメラにアクセスする場合は、付属の「MDload」を使用してください。

(3. PC からの LAN 接続 参照)

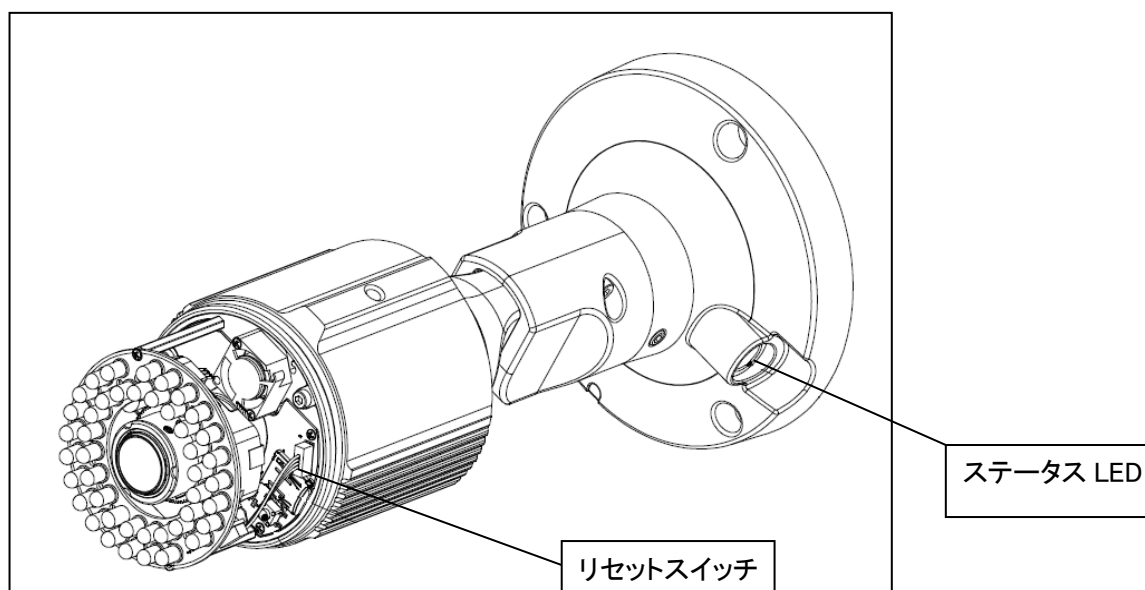


図 6-1 カメラ本体

セットアップ画面から初期化する

ブラウザのセットアップ画面からも設定を初期化することができます。

手順については 5-9-3. メンテナンス を参照してください。

6-2. 工場出荷時の設定値一覧

本製品の工場出荷時の設定は以下のようになっています。

階層	設定項目	初期設定値
言語設定		Japanese
インストール	インストール設定	NTSC
ビデオ＞コーデック	コーデック	H.264 / H.264
	サイズ	1920x1080 / 640x352
	フレームレート(FPS)	30 / 30
	GOP Size	30 / 30
	ビットレート制御	CBR / CBR
	平均ビットレート	10000 / 3000
	Quality	選択不可 / 選択不可
	Boost Quality	OFF
	フリッカレスモード	60Hz
	画像反転	NONE
	帯域制限	OFF
	最大帯域	5000
ビデオ＞カメラ設定＞露出制御	露出モード	AUTO
	AGC ゲイン	0
	電子シャッタースピード	30
	スローシャッター	OFF
	最大 AGC	LOW
	アイリス制御	AUTO
	逆光補正	OFF
	デイ・ナイトモード	AUTO / 0 sec
ビデオ＞カメラ設定＞ホワイトバランス制御	モード	AUTO
	手動モード	INDOOR(2800K)
ビデオ＞カメラ設定＞画質設定	シャープネス	8
	ブライトネス	15
	コントラスト	15
	カラー	15
音声設定	音声	DISABLE
	コーデック	G.711 u-law 8kHz
	マイクボリューム	50
	スピーカーボリューム	50
ライブ＞ビューワー設定	プロトコル	RTP over RTSP(TCP)
	バッファ時間	0

ライブ>OSD 設定	日付	OFF
	解像度	OFF
	イベント状態	OFF
SD カード>設定	上書き	DISABLE
SD カード>イベント	書き込み	無効
	ディレクトリ	event
	ファイル名	空欄
	イベントマッピング	チェックなし
	有効時間	常時
SD カード>定期送信	書き込み	無効
	ディレクトリ	periodical
	ファイル名	空欄
	イベントマッピング	チェックなし
	有効時間	常時
SD カード>設定	上書き	DISABLE
SD カード>イベント	書き込み	無効
FTP>設定>サーバー設定	FTP サーバー	DISABLE
FTP>設定>クライアント設定	サーバーIP	0.0.0.0
	ポート	21
	ユーザー名	空欄
	パスワード	空欄
	Send mode	Active
FTP>イベント	FTP 送信	無効
	ディレクトリ	event
	ファイル名	空欄
	イベントマッピング	チェックなし
	有効時間	常時
FTP>定期送信	FTP 送信	無効
	ディレクトリ	periodical
	ファイル名	空欄
	イベントマッピング	チェックなし
	有効時間	常時
イベント>アラームポート> アラーム入力	動作	ENABLE
	タイプ	N/O
	名前	ALARM1
イベント>アラームポート> アラーム出力	動作	ALARM OUT
	モード	SYNC
	保持時間	5 Sec

イベント＞モーション	エリア 1	選択なし
	エリア 2	選択なし
	エリア 3	選択なし
	エリア 4	選択なし
イベント＞マッピング	アラーム入力	チェックなし
	モーション	チェックなし
ネットワーク＞IP 設定	チェック	IP アドレスを自動で取得 (DHCP)
	IP アドレス	DHCP サーバーによる
	サブネットマスク	DHCP サーバーによる
	デフォルトゲートウェイ	DHCP サーバーによる
	優先 DNS	DHCP サーバーによる
	代替 DNS	DHCP サーバーによる
ネットワーク＞ポート設定	HTTP ポート	80
	RTSP ポート	554
ネットワーク＞RTP＞RTP ポート範囲	開始ポート	50000
	終了ポート	60000
ネットワーク＞RTP＞マルチキャスト設定	メインストリーム IP	239.11.46.93
	ビデオポート	0
	音声ポート	0
	TTL	5
	サブストリーム IP	239.11.46.93
	ビデオポート	0
	音声ポート	0
	TTL	5
ネットワーク＞E メール	E メール通知	OFF
	通知間隔	5 Min
	サーバー	空欄
	ポート	25
	セキュリティ	OFF
	ユーザー名	空欄
	パスワード	空欄
	From	空欄
ネットワーク＞UPnP 設定	UPnP	ON
システム＞ユーザー	登録済みの ID	ADMIN / 1234 / グループ:Admin

システム＞日付/時間	日付表示	YYYY/MM/DD
	時間表示	24Hour
	チェック	手動で設定
	NTP サーバー	POOL.NTP.ORG
	タイムゾーン	GMT+09:00 Asia/Seoul
	D.S.T	OFF
システム＞メンテナンス	システム名	NetCamera

7. 製品仕様

製品仕様

品名	屋外用チューブ型 IP カメラ
型式	IPT-21A
撮像素子	1/2.8 型 プログレッシブスキャン CMOS
有効画素数	1984(H) × 1225(V)
最大解像度	1920 × 1080
レンズ焦点距離	f = 3～9mm
LAN 端子 (RJ-45)	10BASE-T / 100BASE-T
BNC 映像出力	NTSC 1.0V(p-p) 75Ω コンポジット
アラーム入出力	入力:1 出力:1
音声入出力	ライン入力:1 ライン出力:1
音声圧縮方式	G.711
レンズマウント	C/CS マウント
S/N比	50dB 以上 (AGC OFF)
最低被写体照度	カラー: 0.16 lux (F=1.2, 50IRE) 赤外線照射時 : 0 lux
デジタルズーム	× 2 ～ × 10
デイ&ナイト	○ (IR カットフィルタ)
電子シャッター	1/4～1/2,000 秒
デジタルスローシャッター	× 2
ホワイトバランス	ATW/ MANUAL
AGC	○
逆光補正	○
フリッカーレス	○
反転機能	左右反転/上下反転/180 度回転
映像圧縮方式	H.264 (Main Profile) / MJPEG (画質: 5 段階)
フレームレート	2.5～30fps
デュアルストリーム	○
WEB ブラウザ	Internet Explorer 7.0 以上
モーション検知	領域: 4 感度: 10 段階
イベント通知	E メール/プリアラーム/ポストアラーム
カードスロット	Micro SDHC

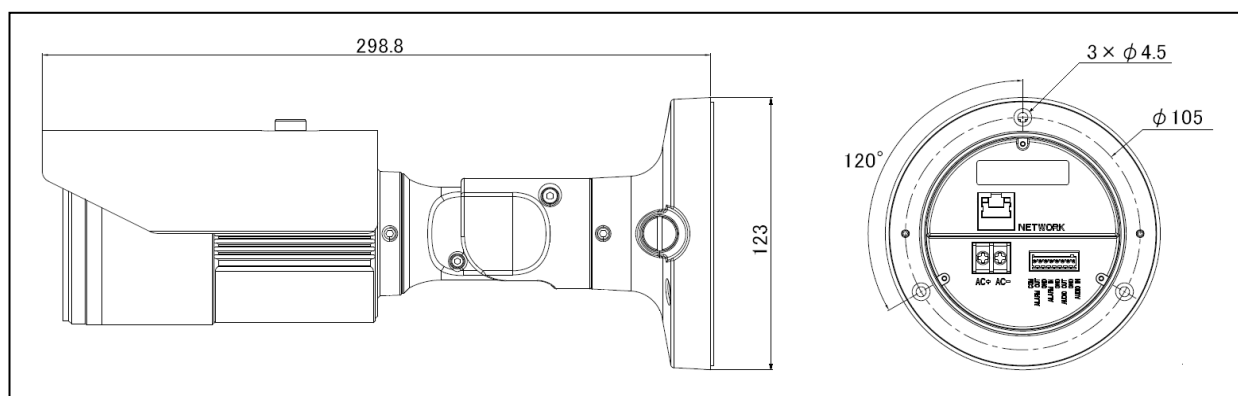
※仕様は改良の為、予告無く変更することがあります。

製品仕様

本体材質	アルミダイキャスト
電源電圧	PoE (IEEE 802.3af) / AC24V
最大消費電力	AC24V : 4.8 W / PoE : 5W
使用温度	-10～+50℃
使用湿度	0～90%
外形寸法 (水平時)	φ123 (取付部の径) × 298.8 (全長)
重量	1.9kg
原産国	韓国

※仕様は改良の為、予告無く変更することがあります。

外形寸法図



単位: [mm]